

平成 22 年 8 月

富士信用金庫

各 位

「富士信用金庫ディスクロージャー誌 2010」の一部訂正について

日頃より弊金庫をご愛顧いただき、厚くお礼申し上げます。

本年発行いたしました「富士信用金庫ディスクロージャー誌 2010」の記載に一部誤りがございましたので、お詫び申し上げますとともに、別紙正誤表の通り訂正いたします。

敬具

記

<訂正内容>

- ①25 頁 「最近 5 年間の主要な経営指標等の推移」における職員数
- ②31 頁 「リスク管理債権及び金融再生法開示債権の状況」における【リスク管理債権の引当・保全状況】
- ③31 頁 「リスク管理債権及び金融再生法開示債権の状況」における【金融再生法開示債権及び同債権に対する保全状況】

以上

本件に関するお問合せ先

富士信用金庫 総合企画部 TEL 0545(53)3054

(別紙正誤表)

訂正前

①25頁 「最近5年間の主要な経営指標等の推移」における職員数

科目種類	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
(略)					
職員数	291人	284人	297人	309人	308人

②31頁 「リスク管理債権及び金融再生法開示債権の状況」における【リスク管理債権の引当・保全状況】

【リスク管理債権の引当・保全状況】

(単位：百万円、%)

区分		残高	担保・保証	貸倒引当金	保全率
		(A)	(B)	(C)	(B+C) / A
破綻先債権	平成20年度	967	855	112	100.00%
	平成21年度	686	674	12	100.00%
延滞債権	平成20年度	10,355	7,433	2,098	92.04%
	平成21年度	8,664	6,681	1,170	90.62%
3か月以上延滞債権	平成20年度	88	62	10	81.82%
	平成21年度	48	44	4	100.00%
貸出条件緩和債権	平成20年度	236	78	27	44.49%
	平成21年度	330	134	29	49.39%
合計	平成20年度	11,647	8,428	2,247	91.65%
	平成21年度	9,729	7,533	1,215	89.92%

平成22年3月末のリスク管理債権の合計は9,729百万円で、総貸出額全体(151,145百万円)に占める割合は6.43%となっており、これらの債権は担保や貸倒引当金などによって**89.92%**カバーされています。

この他、出資金、利益準備金や特別積立金等の自己資本額は15,571百万円(前期比728百万円)に達し、自己資本比率は13.56%(前期比+1.59%)となりましたが、資産内容の健全性は十分確保されています。

③31頁 「リスク管理債権及び金融再生法開示債権の状況」における【金融再生法開示債権及び同債権に対する保全状況】

【金融再生法開示債権及び同債権に対する保全状況】

(単位：百万円、%)

区分		開示残高	保全額	担保保証による回収見込額	貸倒引当金	保全率	引当率
		(a)	(b)	(c)	(d)	(b) / (a)	(d) / (a-c)
金融再生法上の不良債権	平成20年度	11,660	10,685	8,438	2,247	91.64%	69.74%
	平成21年度	9,745	8,739	7,523	1,216	89.68%	54.73%
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	平成20年度	1,668	1,668	1,445	223	100.00%	100.00%
	平成21年度	1,710	1,710	1,524	186	100.00%	100.00%
危険債権	平成20年度	9,667	8,840	6,853	1,987	91.45%	70.61%
	平成21年度	7,655	6,812	5,816	996	88.99%	54.16%
要管理債権	平成20年度	324	177	140	37	54.63%	20.11%
	平成21年度	379	217	183	34	57.26%	17.35%
正常債権	平成20年度	142,636					
	平成21年度	144,211					
合計	平成20年度	154,296					
	平成21年度	153,957					

平成22年3月末の金融再生法開示債権のうち、正常債権を除く債権の合計は9,745百万円で、債権全体に占める割合は6.33%となっており、これらの債権は担保や貸倒引当金などによって**89.69%**カバーされています。

訂正後

①25頁 「最近5年間の主要な経営指標等の推移」における職員数

科目種類	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
(略)					
職員数	291人	284人	297人	309人	306人

②31頁 「リスク管理債権及び金融再生法開示債権の状況」における【リスク管理債権の引当・保全状況】

【リスク管理債権の引当・保全状況】 (単位：百万円、%)

区分		残高	担保・保証	貸倒引当金	保全率
		(A)	(B)	(C)	(B+C) / A
破綻先債権	平成20年度	967	855	112	100.00%
	平成21年度	686	674	12	100.00%
延滞債権	平成20年度	10,355	7,433	2,098	92.04%
	平成21年度	8,664	6,681	1,170	90.62%
3か月以上延滞債権	平成20年度	88	62	10	81.82%
	平成21年度	48	21	4	52.08%
貸出条件緩和債権	平成20年度	236	78	27	44.49%
	平成21年度	330	110	29	42.12%
合計	平成20年度	11,647	8,428	2,247	91.65%
	平成21年度	9,729	7,486	1,215	89.43%

平成22年3月末のリスク管理債権の合計は9,729百万円で、総貸出額全体(151,145百万円)に占める割合は6.43%となっており、これらの債権は担保や貸倒引当金などによって89.43%カバーされています。

この他、出資金、利益準備金や特別積立金等の自己資本額は15,571百万円(前期比728百万円)に達し、自己資本比率は13.56%(前期比+1.59%)となりましたが、資産内容の健全性は十分確保されています。

③31頁 「リスク管理債権及び金融再生法開示債権の状況」における【金融再生法開示債権及び同債権に対する保全状況】

【金融再生法開示債権及び同債権に対する保全状況】 (単位：百万円、%)

区分		開示残高	保全額	担保保証による回収見込額	貸倒引当金	保全率	引当率
		(a)	(b)	(c)	(d)	(b) / (a)	(d) / (a-c)
金融再生法上の不良債権	平成20年度	11,660	10,685	8,438	2,247	91.64%	69.74%
	平成21年度	9,745	8,688	7,472	1,216	89.15%	53.50%
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	平成20年度	1,668	1,668	1,445	223	100.00%	100.00%
	平成21年度	1,710	1,710	1,524	186	100.00%	100.00%
危険債権	平成20年度	9,667	8,840	6,853	1,987	91.45%	70.61%
	平成21年度	7,655	6,812	5,816	996	88.99%	54.16%
要管理債権	平成20年度	324	177	140	37	54.63%	20.11%
	平成21年度	379	166	132	34	43.80%	13.77%
正常債権	平成20年度	142,636					
	平成21年度	144,211					
合計	平成20年度	154,296					
	平成21年度	153,957					

平成22年3月末の金融再生法開示債権のうち、正常債権を除く債権の合計は9,745百万円で、債権全体に占める割合は6.33%となっており、これらの債権は担保や貸倒引当金などによって89.15%カバーされています。

以上